

沖縄県

農業と福祉のチカラで未来を耕そう!

農福連携推進 講演会

農業と福祉が連携して、農業分野において障害がある方の働く場を作り出す取り組み「農福連携」。高齢化や人手不足など農業現場での課題解決と障害がある方のやりがい・働きがいの創出が期待されると注目されています。

《日時》
令和7年 **11月27日** 木
14:00～16:00 [受付 13:30～]

入場
無料

《会場》南風原町立中央公民館 黄金ホール
(島尻郡南風原町喜屋武236)

農福連携について関心がある方のご参加、お待ちしております!



第1部 14:05～ 基調講演

テーマ つながる農福連携から ひろがる農福連携へ



千葉大学 大学院園芸学研究院
教授 吉田 行郷 氏

1985年に東京大学農学部卒業後、農林水産省で20年間行政官として勤務した後、同省・農林水産政策研究所で研究官として16年間勤務。2021年に同研究所を次長で退職し、現職に。2008年より農業分野で社会的弱者の活躍の場・居場所づくりを目指す「農福連携」の研究を開始。著書として「農福連携が農業と地域をおもしろくする」がある。

第2部 15:00～ 事例報告

事例
報告
1

農業の現場から広がる幸せ
～企業が支える、誰もが輝ける社会～

ウイングアーク1st 株式会社
ダイバーシティ雇用部

部長 新里 えり子 氏
(農水省認定 農福連携技術支援者)

事例
報告
2

農福連携で経営の柱を目指す

株式会社楽ワーク福祉作業所

管理者 玉城 達矢 氏

当日は質疑応答の時間を設けていますので農福連携に携わる方々の生の声が聞けます。

申込み締切日 **11月26日** 水 15:00

農福連携推進講演会のご予約は
右記のQRコードから申込へ!!



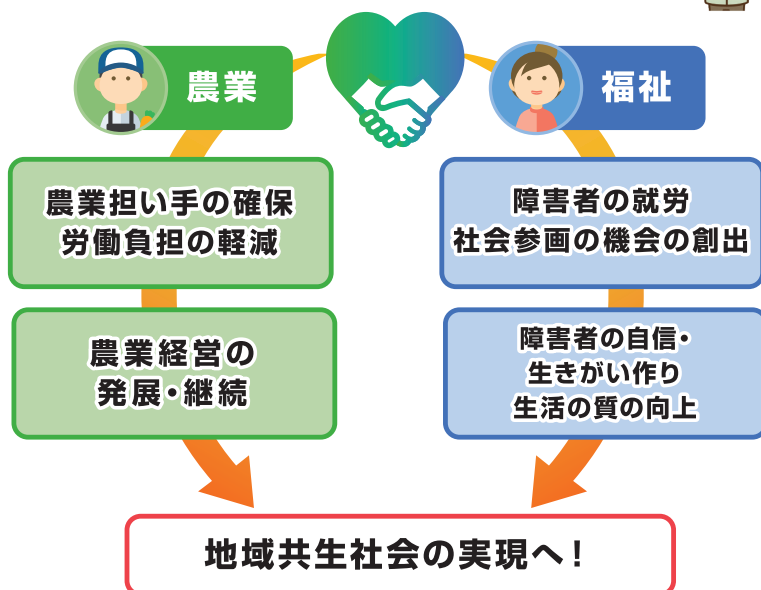
沖縄で広がるノウフク*パワー!

ご存知ですか?

農福連携のこと

農業×福祉で築く、
未来へ向けたプロジェクト

『農福連携』は、農業現場の人手不足解消に加え、障害者等の多様な視点が新しいアイデアを生み出し、農業経営の効率化やイノベーションを促進すると注目されています。地域コミュニティの強化にも寄与し、農業経営体が社会的責任を果たすことで地域の信頼獲得にもつながります。



農福連携が
貢献するSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



農福連携推進講演会参加申込み

申込み締切日: **11月26日 水 15:00**

WEB

申込みフォームはこちら

沖縄県農福連携推進講演会

検索



スマホのカメラを左の「QRコード」にかざして読み込みます。



申込みフォームにて必要事項を記入し、お申込みください。

FAX

参加申込書

当日のご来場は時間厳守をお願いいたします

《メール・FAXからお申込みされる方》下記参加申込書に必要事項をご記入ください。

FAX **098-941-3973**

Mail **noufuku@idb-aaa.co.jp**

市町村	市・町・村	所属団体名	
氏 名	ふりがな	職業	
TEL		mail	
代表者の方に☑を入れてください。	氏 名	代表者の方に☑を入れてください。	氏 名
☐		☐	
☐		☐	